

1. 科目名 (単位数)	専門演習ⅡC (経営福祉関連研究) ※秋入学生 (2単位)	3. 科目番号	SSMP6203
2. 授業担当教員	【池袋】岡田 広司、杉山 章、陳 森、曹 勁、武本 隆行		
4. 授業形態	資料の輪読、学生の発表に基づくディスカッション	5. 開講学期	通年
6. 履修条件・他科目との関係		履修形態 (通信教育)	
7. 講義概要	各教員がテーマを持ちより、1回目に資料を輪読させ、教員より当該テーマの概要を解説する。2回目までにグループごとに、当該テーマの解決すべき課題、先行研究が検討してきた内容を明らかにした上で、何をすべきかを発表する。3回目は2回目の発表を受けてグループディスカッションを行い、修士論文作成に向けての実践的トレーニングを行う。		
8. 学習目標	指導教授が決定した後の課題研究において、自己の調査研究のテーマを自発的に発見し、解決すべき課題を発見できるようになる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	随時講義中に行う。		
10. 教科書・参考書・教材	教科書】 共通のテキストはないので、各教員からの指示に従うこと 【参考書】 各テーマに記載された参考文献を参考書として用いるので、各教員からの指示に従うこと		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 修士論文に向けたリサーチクエストに関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. リサーチクエストを解決する思考が身についたか。 3. 出席しているだけでなく発言等参加をしているか。 ○評定の方法 【授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。 1 授業への積極的参加 総合点の70% 2 課題レポート 総合点の20% 3 出席 総合点の10%		
12. 受講生へのメッセージ	講義は「参加」することが大事である。特に修士論文完成に向けた基礎となるので、積極的に発言を求めらる。		
13. オフィスアワー	別途通知する		
14. 学習の展開及び内容	【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】		
1. テーマ	ガイダンス、調査・研究を行うということ (曹)		
【学習の目標】	修士論文を書くためにやらなければならないことを確認する		
【学習の内容】	大学院要覧記載の修士論文の手引き (社会福祉学専攻) に書いてある内容を確認し、本学において何を研究するのか、自己の研究テーマについて、何を明らかにしたいのか、どのような先行研究がなされているのかを自発的に学習する意識を持たせる。		
【キーワード】	エビデンス、先行研究、文献調査、実証研究、研究課題		
【学習の課題】	自己の研究課題を見つけ、文献調査を始めることができる		
【参考文献】	大学院要覧 (2021年度版では pp.120~127)		
【学習する上での留意点】	大学院要覧を事前に読んでくること		
2. テーマ	論文を書くということ、論文の作法 (曹)		
【学習の目標】	論文を書くための前提となるルールを確認する		
【学習の内容】	論文を書くための形式、引用・注・参考文献等のルールを確認する		
【キーワード】	問題設定、調査・資料収集、議論・検討、合理的な根拠づけ、引用、注、参考文献		
【学習の課題】	<ul style="list-style-type: none"> 自己の研究課題における問題設定を確認する。 引用、注、参考文献の使い方を確認する 		
【参考文献】	小林康夫・船曳建夫編『知の技法』東京大学出版会 1994、pp.211~233		
3. テーマ	口頭発表の作法と技法、テクノロジーの利用、調査の方法 (曹)		
【学習の目標】	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーション資料をどのように作成すればよいかを確認する。 参考文献等をどのように探せばよいかを確認する。 		
【学習の内容】	<ul style="list-style-type: none"> 限られた時間の中で自己の主張の要点を理解してもらうための発表レジュメの構成 参考文献の探し方 (図書館、書店、インターネット)、フィールドワーク、アンケート調査 		
【キーワード】	口頭発表 (プレゼンテーション)、質疑応答 (ディベート)、レジュメ、文献調査、鑑賞と見学、フィールドワーク、社会調査 (サーベイ)、実験		
【学習の課題】	プレゼンテーションの準備ができる、参考文献を探せる		
【参考文献】	小林康夫・船曳建夫編『知の技法』東京大学出版会 1994、pp.234~267 小林康夫・船曳建夫編『知の論理』東京大学出版会 1995、pp.287~304 (配布のみ)		
4. テーマ	福祉施設経営領域及び福祉産業領域のケーススタディ(2) 演習を始めるにあたって (岡田)		
【学習の目標】	社会福祉施設 (高齢者介護、障害者介護など)、及び福祉産業 (バリアフリー用具、介護サービスロボットなど) の事例を取り上げた資料を輪読し、研究テーマ選択のための知識を深める。専門演習ⅠCの学習内容を更に深める。		
【学習の内容】	高齢者介護施設 (特別養護老人ホーム、有料老人ホームなど)、身体障害者施設 (授産施設、介護施設など) 及び福祉産業の事例を取上げ、ディスカッションを通して研究テーマの方向性を明確にする。		
【キーワード】	研究テーマの探究、福祉施設経営、バリアフリー、福祉機器		
【学習の課題】	<ul style="list-style-type: none"> 施設経営及び福祉産業の事例を通して、自己の研究課題の設定を参考にする。 事例を通して経営福祉領域に係わる研究の関連性を理解する。 組織経営、新事業創造についての研究のあり方を理解する。 		
【参考文献】	福祉臨床シリーズ編集委員会編『福祉サービスの組織と経営』弘文社、2017。		

	岡田広司著『商品開発とビジネス戦略』あるむ、2009。 【学習する上での留意点】 これまで学習した1.テーマ～3.テーマを復習して修士論文の考え方を理解しておく。
5. テーマ	福祉施設経営領域及び福祉産業領域のケーススタディ(2)の演習(個人発表とグループ編成・岡田)
【学習の目標】	ケーススタディ(2)を通して経営福祉領域に関する研究を理解する。
【学習の内容】	ケーススタディ(2)の学習を通して得られた関心のある研究課題の提起とグループ編成とグループ内での討論
【キーワード】	研究課題の提起、福祉施設経営と企業経営、グループ編成
【学習の課題】	・ケーススタディ(2)を通して自己の研究課題の提起と発表手法 ・発表内容(テーマを選んだ事由、解決する課題、先行研究の検討、解決手段と根拠など)のまとめ ・社会福祉経営と企業経営論との関連
【参考文献】	社会福祉の動向編集委員会編『社会福祉の動向2020』中央出版、2019。 岡田広司著『現代マネジメント概論』あるむ、2011。
【学習する上での留意点】	これまで学習した1.テーマ～4.テーマを理解しておく。
6. テーマ	福祉施設経営領域及び福祉産業領域のケーススタディ(2)の演習(グループディスカッションと発表・岡田)
【学習の目標】	経営福祉領域に関する研究の発表資料のまとめ方と発表手法を習得する。
【学習の内容】	グループ内ディスカッションと別のグループの発表に対するディスカッション
【キーワード】	口頭発表、グループディスカッション、発表資料
【学習の課題】	・グループディスカッションの展開能力の習得 ・社会福祉経営領域研究のプレゼンテーション能力の向上
【参考文献】	社会福祉の動向編集委員会編『社会福祉の動向2020』中央出版、2019。
【学習する上での留意点】	これまで学習した4.テーマ～5.テーマとの関連を理解しておく。
7. テーマ	消費者行動について考える(陳)
【学習の目標】	高齢者の消費者問題について課題を発見する。
【学習の内容】	高齢者の消費者問題の課題を議論する。
【キーワード】	消費者被害、買い物弱者
【学習の課題】	高齢者の消費者問題の資料を検討する。
【参考文献】	消費者白書
【学習する上での留意点】	高齢者の買い物行動の問題点を整理する。
8. テーマ	消費者行動の市場調査について討議(陳)
【学習の目標】	買い物行動の特性について説明できる。
【学習の内容】	買い物調査の方法と調査票の作成。
【キーワード】	買い物行動調査、来店者調査。
【学習の課題】	消費者買い物行動の調査項目から消費者の特性と問題を議論する。
【参考文献】	城田吉孝『ポイントマーケティング情報論』中部日本文化会2016年
【学習する上での留意点】	市場調査の方法についてその特徴を整理する
9. テーマ	消費者行動の調査についてプレゼンテーション(陳)
【学習の目標】	買い物行動調査の結果から討議する。
【学習の内容】	調査方法、調査目的、調査結果からその特徴を説明できる。
【キーワード】	調査票の設計、調査目的、仮説、調査結果
【学習の課題】	調査方法と調査内容との整合性
【参考文献】	城田吉孝『ポイントマーケティング情報論』中部日本文化会2016年
【学習する上での留意点】	調査目的の明確と調査項目、調査方法が適正であるかに注意する。
10. テーマ	高齢社会の課題と社会政策についてのプレゼンテーション(田口・杉山)
【学習の目標】	高齢社会の課題を説明できる。
【学習の内容】	高齢社会の現状を理解し、課題を検討する。
【キーワード】	高齢社会、高齢者の扶養、高齢者対策
【学習の課題】	高齢社会の課題を検討するとともに、解決策を探る。
【参考文献】	授業において指示する。
11. テーマ	日本型福祉社会論についてのプレゼンテーション(田口・杉山)
【学習の目標】	日本型福祉社会の課題を説明できる。
【学習の内容】	福祉国家建設の挫折を経て、日本型の福祉社会を検討する。
【キーワード】	福祉国家、先進国病、社会保障制度
【学習の課題】	日本型の福祉社会とはどのような社会を示すのかを検討する。
【参考文献】	授業において指示する。
12. テーマ	高齢者福祉政策についてのプレゼンテーション(田口・杉山)
【学習の目標】	ゴールド・プランの変遷を説明できる。
【学習の内容】	ゴールド・プランの課題を見つける。
【キーワード】	ゴールド・プラン、ショートステイ、ホームヘルパー
【学習の課題】	高齢者福祉政策の課題を検討する。
【参考文献】	授業において指示する。
13. テーマ	論文のまとめ方(前半総括1 武本)
【学習の目標】	春期の講義の内容を基にして、理論から論文へのまとめ方を整理する。
【学習の内容】	これまでの講義内容を踏まえて、それぞれの修論を視野に入れた実際のテーマ設定をトレーニングする。
【キーワード】	理屈・理論・リサーチクエスチョン
【学習の課題】	報告書と論文の違いを理解する。
【参考文献】	授業において指示する。
14. テーマ	論文のまとめ方(前半総括2 武本)
【学習の目標】	春期の講義の内容を基にして、理論から論文へのまとめ方を整理する。
【学習の内容】	これまでの講義内容を踏まえて、それぞれの修論を視野に入れた実際の理論構築をトレーニングする。

【キーワード】	理屈・理論・リサーチクエスチョン
【学習の課題】	報告書と論文の違いを理解する。
【参考文献】	授業において指示する。
15. テーマ	春期のまとめ (前半総括3 武本)
【学習の目標】	春期の講義の内容を基にして、理論から論文へのまとめ方を整理する。
【学習の内容】	これまでの講義内容を踏まえて、それぞれの修論を視野に入れた実際の全体像のまとめ方をトレーニングする。
【キーワード】	理屈・理論・リサーチクエスチョン
【学習の課題】	報告書と論文の違いを理解する。
【参考文献】	授業において指示する。
16. テーマ	調査結果の整理 (曹)
【学習の目標】	自己の修士論文に利用する調査の内容を分析するための方法を整理する。
【学習の内容】	社会調査の意義・目的を確認する。社会調査における量的調査と質的調査の違いを確認し、そのメリットとデメリットを確認する。
【キーワード】	社会調査、問題意識、ラポール、倫理規定、量的調査、質的調査、世論調査、マーケティングリサーチ、アンケート調査、インタビュー調査、参与観察、フィールドワーク、サンプリング
【学習の課題】	社会調査の意味を確認し、自己の調査研究のための調査票・質問票が適切であったかを吟味する。
【参考文献】	夏休み明けに指示する
17. テーマ	質的研究におけるインタビュー調査 (グループディスカッション・曹)
【学習の目標】	自己の調査研究においてインタビュー調査を行った学生にプレゼンさせ、何を明らかにしたかったのかを確認する。
【学習の内容】	学生のプレゼンに基づき、インタビュー調査によって明らかにできること、できないことをグループディスカッションの上で、検討する
【キーワード】	質的調査、ブレインストーミング、KJ法、魚の骨型展開法、インタビュー調査、質問票
【学習の課題】	インタビュー調査をする際に、聞きださなければならないことを確認する。
【参考文献】	夏休み明けに指示する
18. テーマ	量的研究におけるアンケート調査 (グループディスカッション・曹)
【学習の目標】	自己の調査研究において、アンケート調査を行った学生にプレゼンさせ、何を明らかにしたかったのかを確認する。
【学習の内容】	学生のプレゼンに基づき、アンケート調査によって明らかにできたこと、できなかったことをグループディスカッションを行った上で検討する
【キーワード】	名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度、単純集計、度数分布、棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフと帯グラフ、ヒストグラム、クロス集計、相関関係、因果関係、独立変数、従属変数
【学習の課題】	アンケート調査の意味について確認する。
【参考文献】	夏休み明けに指示する
19. テーマ	福祉施設経営領域及び福祉産業領域のケーススタディ(2) の社会調査・演習にあたって (岡田)
【学習の目標】	前出のケーススタディ(2)と同じ研究領域の事例について演習する。前出の16.テーマ「量的調査と質的調査」との関連にケーススタディ(2)を使ってディスカッションする。社会福祉施設(高齢者介護、障害者介護など)、及び福祉産業(バリアフリー用具、介護サービスロボットなど)の事例を取り上げた資料をもとに、自己の調査研究においては、いずれの方法が適しているのか判断でき、そのプロセスを構築できる。専門演習ICの学習を更に深める。
【学習の内容】	高齢者介護施設(特別養護老人ホーム、有料老人ホームなど)、身体障害者施設(授産施設、介護施設など)及び福祉産業の事例を取上げ、ディスカッションを通して研究テーマに関する調査手法を理解する。
【キーワード】	福祉施設経営、福祉産業、社会調査、量的研究、質的研究、ブレインストーミング、カード分析法
【学習の課題】	・施設経営及び福祉産業の事例を通して、自己の研究課題の調査手法設定の参考にする。 ・事例を通して経営福祉領域に係わる調査研究の関連性を理解する。 ・組織経営、製品開発、経営管理などについての調査のあり方を理解する。
【参考文献】	福祉臨床シリーズ編集委員会編『福祉サービスの組織と経営』弘文社、2017。 岡田広司著『商品開発とビジネス戦略』あるむ、2009。
【学習する上での留意点】	これまで学習した16.テーマ～18.テーマを復習して社会調査の考え方を理解しておく。
20. テーマ	福祉施設経営領域及び福祉産業領域のケーススタディ(2) の社会調査(個人発表とグループ編成・岡田)
【学習の目標】	ケーススタディ(2)を通して経営福祉領域に関する研究におけるエビデンスを得るための社会調査をインタビュー調査で何をインタビューすべきか、あるいはアンケート調査をどのように進めるかなど、研究方法を理解する。
【学習の内容】	ケーススタディ(2)の学習を通して得られた研究課題についてインタビュー調査あるいはアンケート調査をどのように進めるべきか、研究方法をグループディスカッションの上でまとめる。
【キーワード】	インタビュー調査、アンケート調査、個人発表、グループ編成、グループディスカッション、
【学習の課題】	・ケーススタディ(2)を通して自己の研究調査手法と分析法を理解する。 ・研究方法(研究の対象、調査・研究のデザイン、データの収集方法、解決手段と根拠など)のまとめ
【参考文献】	社会福祉の動向編集委員会編『社会福祉の動向2020』中央出版、2019 岡田広司著『現代マネジメント概論』あるむ、2011。
【学習する上での留意点】	これまで学習したテーマ16～19を理解しておく。
21. テーマ	福祉施設経営領域及び福祉産業領域のケーススタディ(2) の研究(グループディスカッションと発表・岡田)
【学習の目標】	別なグループの発表に対するグループディスカッションを通して、適切な社会調査方法や研究方法を選択する力を得ると共に、研究の論理展開方法の理解を深める。
【学習の内容】	ケーススタディ(2)を通して調査してまとめた他のグループ発表に対して、グループディスカッションすることにより、社会調査などの研究の方法を理解する。
【キーワード】	口頭発表、発表資料、研究方法、プレゼンテーション
【学習の課題】	・調査、研究のデザイン、データ収集方法の理解 ・調査能力、データ分析方法の理解 ・社会福祉経営領域研究のプレゼンテーション方法の習得
【参考文献】	社会福祉の動向編集委員会編『社会福祉の動向2020』中央出版、2019。 岡田広司著『現代マネジメント概論』あるむ、2011。
【学習する上での留意点】	これまで学習した19.テーマ～20.テーマとの関連を理解しておく。

22. テーマ	企業のアカウンタビリティについて考える (陳)
【学習の目標】	企業のアカウンタビリティに関する課題を見つける。
【学習の内容】	企業統治、コンプライアンス、アカウンタビリティについて議論する。
【キーワード】	消費者、経営者、企業情報、社会貢献情報
【学習の課題】	企業のアカウンタビリティについて消費者と経営者の受け止め方に注意する。
【参考文献】	資料を配付する。
【学習する上での留意点】	企業統治とアカウンタビリティの関係について整理する。
23. テーマ	企業のアカウンタビリティの課題 (陳)
【学習の目標】	企業のアカウンタビリティに関する調査から消費者、経営者の相違について議論。
【学習の内容】	企業情報の公開状況、入手媒体、公開媒体の認知状況。
【キーワード】	製品注意情報、環境情報、社会貢献情報、公開情報、ネガティブ情報
【学習の課題】	調査資料・文献を検討する。
【参考文献】	資料を配付する。
【学習する上での留意点】	課題から問題点を見つけ企業情報の有効な活用。
24. テーマ	企業のアカウンタビリティについてプレゼンテーション (陳)
【学習の目標】	企業のアカウンタビリティについてプレゼンテーションができる。
【学習の内容】	企業のアカウンタビリティについてのプレゼンテーションから、解決すべき課題を見つける。
【キーワード】	企業情報、アカウンタビリティ、消費者、経営者
【学習の課題】	アカウンタビリティについて消費者と経営者の課題を検討する。
【参考文献】	授業において指示する。
【学習する上での留意点】	これまで学習した営利企業、非営利企業のマネジメント、企業統治、消費者行動、アカウンタビリティの内容から経営問題の重要な点を理解し、解決策を検討し、議論を通じて経営福祉に関連する諸問題を解決策の参考とし論文に活かす。
25. テーマ	雇用形態の多様化と不安定就業についてのプレゼンテーション (田口・杉山)
【学習の目標】	1990年代以降の雇用形態の多様化を説明できる。
【学習の内容】	統計資料や文献に基づいて雇用形態の多様化を理解する。
【キーワード】	正規雇用、非正規雇用、雇用の多様化
【学習の課題】	正規雇用と非正規雇用の格差について検討する。
【参考文献】	授業において指示する。
26. テーマ	貧困と女性についてのプレゼンテーション (田口・杉山)
【学習の目標】	女性の貧困の原因について説明できる。
【学習の内容】	母子世帯、高齢単身女性などの貧困について検討する。
【キーワード】	母子世帯、児童扶養手当、貧困の再生産
【学習の課題】	貧困の再生産について検討する。
【参考文献】	授業において指示する。
27. テーマ	外国人労働者と多文化共生についてのプレゼンテーション (田口・杉山)
【学習の目標】	外国人労働者政策について説明できる。
【学習の内容】	外国人労働者が抱える課題を検討し、多文化共生について検討する。
【キーワード】	外国人労働者、補充移民論、多文化共生
【学習の課題】	多分共生の取り組みについて検討する。
【参考文献】	授業において指示する。
28. テーマ	論文のまとめ方 (後半総括1 武本)
【学習の目標】	秋期の講義の内容を基にして、理論から論文へのまとめ方を整理する。
【学習の内容】	これまでの講義内容を踏まえて、それぞれの修論を視野に入れた実際のテーマ設定をトレーニングする。
【キーワード】	理屈・理論・リサーチクエスト
【学習の課題】	報告書と論文の違いを理解する。
【参考文献】	授業において指示する。
29. テーマ	論文のまとめ方 (後半総括2 武本)
【学習の目標】	秋期の講義の内容を基にして、理論から論文へのまとめ方を整理する。
【学習の内容】	これまでの講義内容を踏まえて、それぞれの修論を視野に入れた実際の理論構築をトレーニングする。
【キーワード】	理屈・理論・リサーチクエスト
【学習の課題】	報告書と論文の違いを理解する。
【参考文献】	授業において指示する。
30. テーマ	演習のまとめ (武本)
【学習の目標】	全体の講義の内容を基にして、論文へのまとめ方を整理する。
【学習の内容】	これまでの講義内容を踏まえて、それぞれの修論を視野に入れた実際の全体像のまとめ方をトレーニングする。
【キーワード】	リサーチクエスト
【学習の課題】	修士論文に向けた基本形の完成
【参考文献】	授業において指示する。